

実態調査アンケート結果を公表

「待機時間」や「車中泊」の労働時間のあり方を見直す必要性が浮き彫りに

4月3日に実施した全国トラック部会による全国統一宣伝行動において、トラック運転者の実態調査アンケートに取り組み、全国で329筆の回答が寄せられました。ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

今回のアンケート結果から、現在のトラック運転者を取り巻く労働実態の深刻さが、改めて浮き彫りとなりました。まず、「2024年問題」後の労働時間及び賃金の変化の問いである問5及び問6においては、いずれも「変化なし」と回答した割合が多数を占めました。これは、働き方改革や改善基準の見直しが進められているにもかかわらず、現場の労働条件が実質的に改善されていないことを示すものです。制度の見直しが行われても、現場の実態には反映されていないという現実が明確に示されています。

次に、問9では、主な休息場所として「車両内ベッド」が最も多く選ばれました。多くの運転者が、依然として車両内での休息を余儀なくされている実態が確認されました。これは、適切な休息環境が確保されていないことを意味しており、長距離運行における慢性的な拘束の実態を示しています。

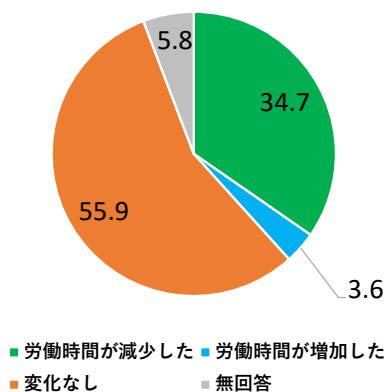
さらに重要なのが問10の結果です。「車両内ベッドで仮眠する場合、それを仕事から完全に解放された時間と考えるか」という問いに対し、「考えない」が44%にのぼり、「考える」の24.4%を大きく上回りました。この結果は極めて重要です。すなわち、多くの運転者自身が、車両内での仮眠を「自由な休息时间」とは認識していないということです。車両や積み荷の管理、緊急対応への備え、環境的制約などにより、心理的にも物理的にも業務から解放されていない状態が続いていることが明らかになりました。

これらの結果を総合すると、車両内ベッドでの休息は、実態としては労働の延長線上にあるものであり、「休憩時間」や「休息期間」とみなすことは明らかに誤りであると言わざるを得ません。

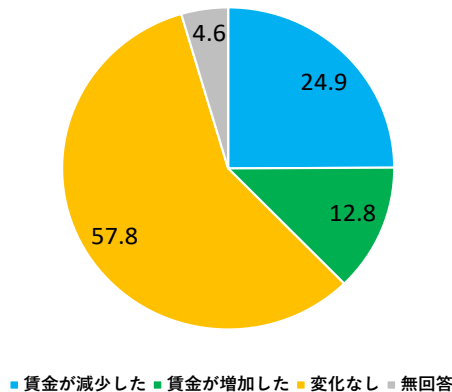
現場の実態は、「休んでいるように見えて実際には拘束されている時間」が広範に存在していることを示しています。にもかかわらず、これらの時間が労働時間として適切に評価されていないことが、長時間労働や過労死の温床となっています。

今回のアンケート結果は、トラック運転者の労働時間のあり方、とりわけ「待機時間」や「車中仮眠」の

問5. 「2024年問題」後の労働時間の変化



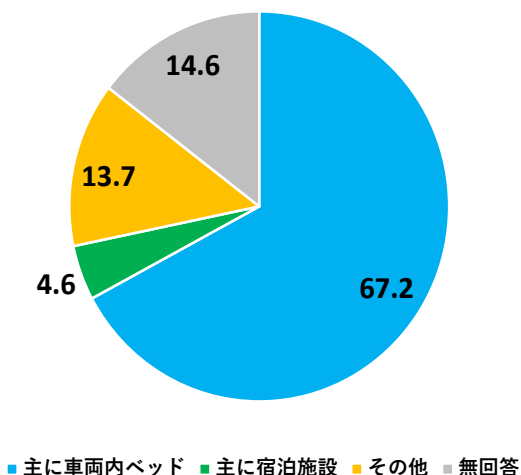
問6. 「2024年問題」後の賃金の変化



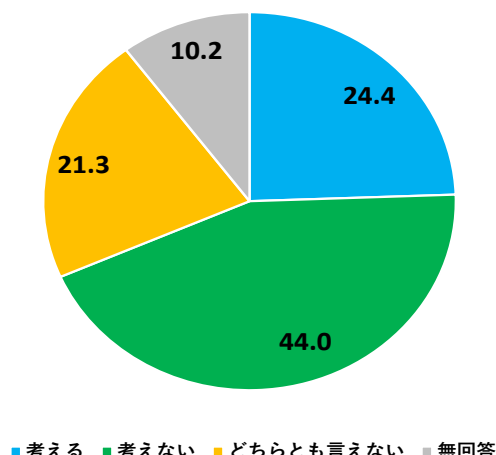
評価を抜本的に見直す必要性を強く示すものです。

今後も現場の声を広く集約し、実態に基づく制度改善と労働環境の是正に向けて取り組みを強めていきます。

問9. 睡眠・休息場所



問10. 車両内ベッドで仮眠する場合、仕事から完全に解放された時間と考えるか



物流効率化法改正案を可決 中継輸送の課題も指摘



日本共産党
畑野君枝

衆議院国土交通委員会において、物流効率化法改正案が10日、全会一致で可決されました。法案は、長距離輸送を担うトラック運転手の負担軽減を目的に「中継輸送」事業を創設し、その実施計画を国が認定したうえで中継輸送施設の整備を進める内容となっています。

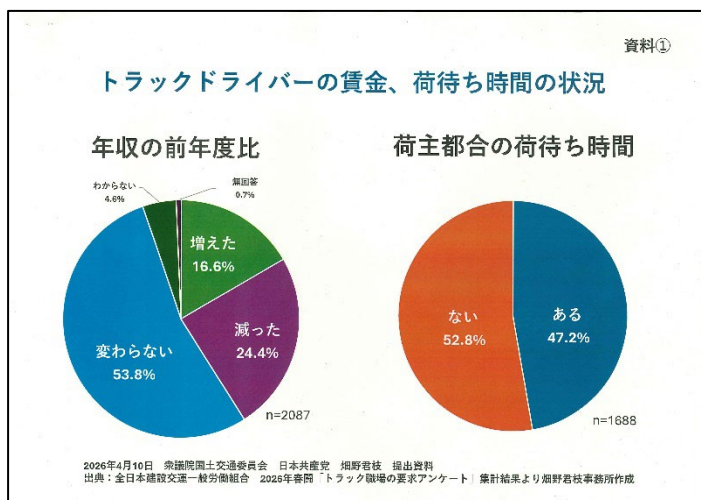
同日の審議では、日本共産党の畑野君枝議員が質疑に立ち、中継輸送政策の実効性について現場の声を紹介しました。畑野議員は、「このとおりにできればいいという期待とともに、本当にできるのかという不安もある」とのトラックドライバーの声を取り上げ、制度への期待と懸念が併存している実態を指摘しました。

また、2024年の法改正後も現場の改善が進んでいない点についても言及し、建交労の2026年春闘アンケートでは、年収が「変わらない」が過半数、「減った」も2割を超えたほか、荷主都合による荷待ち時間が約半数に上ることを示し、労働環境の厳しさが続いている現状を明らかにしました。

さらに畑野議員は、中継輸送を実効あるものとするためには荷主の関与が不可欠であると強調し、拠点整備だけでなく荷主の理解や協力を含めた総合的な対策の必要性を指摘しました。その上で、中継輸送に伴い新たに発生する荷待ち時間や荷役作業が適切に労働時間として扱われるのか、施設使用料が運賃に反映されるのかといった現場の不安について政府の見解をたずねました。

政府は、コスト増加分について荷主への適切な転嫁を進める考えを示しましたが、畑野議員は「荷主の理解が進まなければ現場に負担が押し付けられるおそれがある」と指摘し、制度の実効性確保に向けた課題を提起しました。

同党はこうした課題を指摘しつつも、トラックドライバーの負担軽減につながる制度として法案に賛成し、物流の持続可能性確保に向けた取り組みの前進を評価しました。



トラックドライバーアンケート 総合集計結果

日付 2026.4.13

集計数 329

問1. 会社所在地

北海道	3	滋賀	5	
青森	2	京都	15	
岩手	1	大阪	48	
宮城	1	兵庫	27	
秋田	2	奈良	4	
山形	1	和歌山	3	
福島	1	鳥取	1	
茨城	1	島根	3	
栃木	2	岡山	9	
群馬	3	広島	5	
埼玉	18	山口	2	
千葉	1	徳島	3	
東京	14	香川	7	
神奈川	20	愛媛	2	
山梨	0	高知	3	
新潟	2	福岡	35	
富山	1	佐賀	10	
石川	1	長崎	4	
福井	1	熊本	4	
長野	5	大分	4	
岐阜	6	宮崎	6	
静岡	7	鹿児島	7	
愛知	16	沖縄	0	
三重	4	不明	9	
			合計	329

問2. あなたの仕事を教えてください。

回答数 構成比

1 大型車	189	57.4
2 トレーラー	25	7.6
3 タンクローリー	11	3.3
4 普通・小型	95	28.9
5 その他	8	2.4
無回答	1	0.3

問3. あなたの年代を教えてください。

回答数 構成比

1 10代	0	0.0
2 20代	14	4.3
3 30代	31	9.4
4 40代	87	26.4
5 50代	136	41.3
6 60代	57	17.3
7 70代以上	4	1.2
無回答	0	0.0

問4. あなたの一日の走行距離は約何kmですか？

回答数 構成比

1 100km未満	19	5.8
2 100km以上200km未満	60	18.2
3 200km以上300km未満	84	25.5
4 300km以上500km未満	62	18.8
5 500km以上700km未満	79	24.0
6 700km以上	24	7.3
無回答	1	0.3
平均（推定）	370km	

問5. 「2024年問題」後のあなたの労働時間の変化について教えてください

変化について教えてください

回答数 構成比

1 労働時間が減少した	114	34.7
2 労働時間が増加した	12	3.6
3 変化なし	184	55.9
無回答	19	5.8
①労働時間の減少（月あたり平均時間）	平均38.5時間	
①の回答数 = 62		
②労働時間の増加（月あたり平均時間）	平均15時間	
②の回答数 = 10		

問6. 「2024年問題」後のあなたの月額賃金の変化について教えてください

変化について教えてください

回答数 構成比

1 賃金が減少した	82	24.9
2 賃金が増加した	42	12.8
3 変化なし	190	57.8
無回答	15	4.6
③賃金の減少（平均額）	平均5.6万円	
③の回答数 = 54		
④賃金の増加（平均額）	平均4.3万円	
④の回答数 = 18		

問7. あなたのひと月あたりの平均的な残業時間を教えてください。

回答数 構成比

1 10時間未満	62	18.8
2 10時間以上20時間未満	66	20.1
3 20時間以上30時間未満	52	15.8
4 40時間以上60時間未満	69	21.0
5 60時間以上80時間未満	38	11.6
6 80時間以上	16	4.9
無回答	26	7.9
平均（推定）	33時間	

問8. 前日（前回乗務）から休息期間は何時間ですか？

平均でお答えください。

回答数 構成比

1 9時間未満	63	19.1
2 9時間以上	175	53.2
3 11時間以上	86	26.1
無回答	5	1.5

問9. 休息期間が自宅以外の場合、睡眠・休息場所はどこですか？

睡眠・休息場所はどこですか？

回答数 構成比

1 主に車内ベッド	221	67.2
2 主に宿泊施設	15	4.6
3 その他	45	13.7
無回答	48	14.6
その他のうち「自宅」	19	5.8

問10. 車内ベッドで仮眠する場合、仕事から完全に解放された時間と考えますか？

解放された時間と考えますか？

回答数 構成比

1 考える	55	24.4
2 考えない	99	44.0
3 どちらとも言えない	48	21.3
無回答	23	10.2

※問10のみ225人分から集計

問11. あなたがトラック業界に求めることを教えてください（自由欄）

教えてください（自由欄）

回答数 構成比

1 賃上げ・給与アップ	40	12.2
2 駐車スペースの拡充	30	9.1
3 430廃止・見直し	14	4.3
4 待機場所の確保	9	2.7
5 高速道路料金の割引	6	1.8
6 駐車マナーの改善	5	1.5
7 燃料補助・燃料高騰対策	4	1.2
8 労働時間の増加	3	0.9
9 労働時間の短縮	2	0.6
10 休みを増やす	4	1.2
11 休みを減らす	1	0.3
12 荷待ち時間改善	2	0.6
13 賃金・労働時間の現状維持	3	0.9
14 人手不足解消	1	0.3
15 若者を増やす	2	0.6
16 運賃アップ	3	0.9
17 その他	15	4.6
18 なし	13	4.0
無回答	197	59.9

※自由欄の記述内容を分類して回答数として算出